

世界の主な火山活動

平成 20 年（2008 年）7 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりです。このうち、顕著な活動が見られた主な火山は以下のとおりです。

ジャイマ（チリ）（図中A）

10 日早朝、大規模な噴火が起きた。火口からは溶岩が流出し、山腹を流れ下っている。近隣の 6 つの地域に対し、非常警報が発令された。同国の緊急災害対策庁（ONEMI）が明らかにした。（7 月 15 日 AFP）

オクモク（アメリカ）（図中B）

アラスカ火山観測所（Alaska Volcano Observatory）によると、噴火は現地時間 12 日午前 11 時 43 分に始まり、噴煙の高さは海拔 1 万 5000 メートルに達した。その後も活動は活発で、噴煙の高さが 1 万メートルを超える噴火が時々発生している。

（米国スミソニアン自然史博物館の G V P（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

